

ながのご縁をく信都 長野市

ながのご縁を



信都・長野市

はじめに

まず、平成26年11月22日に発生した、長野県神城断層地震により被災した際には、全国各地からお見舞いと支援の申し出をいただきましたことに心よりお礼を申し上げます。

本市では最大震度6弱を観測し、若千数の負傷者に加え、多数の住家被害をはじめ道路や水道施設の被害などが市内各地で発生しましたが、大事に至らなかったことは、不幸中の幸いでありました。

住宅を失われた方もあり、まだ復興途上ではありますが、市民生活は平穏を取り戻しております。

本年はエポックイヤー

さて、本年は長野市にとりまし

て、エポックイヤーともいえる大変重要な年であります。平成10年の冬季オリンピック開催以来の変革期を迎え、本市は大きく変わります。

一つは、3月14日に北陸新幹線（長野経由）が金沢まで延伸されます。この延伸によって、首都圏や関西方面からの人の流れが大きく変わることが見込まれます。

そして、4月5日から、善光寺において数え年で7年に一度、秘仏である御本尊の御身代わり「前立本尊」を本堂にお迎えして「善光寺前立本尊御開帳」が行われます（4月5日～5月31日）。前回の平成21年には全国から673万人の善男善女の皆さまが参詣されました。

また、全国的にも有名な戸隠神社では6年ごとに行われる式年大

祭が開催されます（4月26日～5月26日）。

この春のイベントは地域経済を活性化させる大きな契機になるものと考えております。

本市では、新幹線の延伸に併せてJR長野駅善光寺口駅前広場を整備してまいりました。同時期に駅舎の改修も行われ、長野市産材を使用した大庇と列柱による山門風の風格ある長野駅となりました。また、駅から善光寺までの約2kmの間、まち歩きを楽しみなから参詣いただくために善光寺表参道の歩道を広く歩きやすいものに改修いたしました。

さらに、このたびの御開帳では、参詣の皆さまに、より楽しい時間を過ごしていただくために、期間中、「日本一の門前町 大縁日」と銘打って、善光寺表参道を

中心に、市民も参加するのにぎやかなイベントを開催して皆さまをお迎えします。

先の地震では、善光寺も鐘楼が損傷するなど被害を受けましたが、修復をして予定通り御開帳が開催されることとあります。どうぞ安心してお越しください。

そして、善光寺参詣の後は、真田十萬石の城下町松代や式年大祭が行われる戸隠、鬼女紅葉伝説の鬼無里などにも足を伸ばしていただきたいと思えます。

現在、本市は、「ながのご縁をく信都・長野市」をキャッチフレーズにシティプロモーションを展開中です。門前町の魅力をさらに高め、「ご縁を結ぶまち」で皆さまをお待ちしております。

文化とスポーツで にぎわうまちに

本年11月の完成を目指して、本市の文化芸術振興の拠点となる長野市芸術館を建設中です。この芸術館は、音楽家の久石譲氏を芸術



善光寺御開帳中庭儀大法要

監督に迎え、平成28年5月の開館に向けて準備を進めております。「文化力あふれるまち」の実現を願う本市に、久石氏の豊かな芸術性が大きな力を与えてくださるものと期待しております。

また、冬季オリンピックの開閉会式を行った南長野運動公園では、サッカーJ1仕様の総合球技場を建設しており、間もなく完成を迎えます。本市には、多くの市民がサポーターとして熱く応援するJ3リーグ所属のAC長野パルセイロや日本女子サッカーリーグ・なでしこリーグ2部所属のACC長野パルセイロ・レディースというサッカーチームがあり、この新スタジアムをホームに、2016シーズンのJ2となでしこリーグ1部のダブル昇格を目指した戦い

が間もなく始まります。

もう一つ、本市では緑を育てることを通じて市民相互のつながりや緑を大切にす文化や人間性を育む「緑育」にも力を入れていきます。育種家でNHK「趣味の園芸」講師の矢澤秀成氏を「ながの花と緑そして人を育てる学校」の校長として迎え、花と緑によるまちづくりの担い手の養成や、小学生を対象にベチュニアの交配を通じて世界にたった一つだけの花を作り出す「育種寺子屋」といった事業を行っています。

人口減少に挑む 長野市長声明

これまで申し上げてきたように、長野市は元気な地方都市です。しかし、全国的な問題である人口減少は本市にとっても地域活力を削ぐ大変大きな問題です。私はこの危機感を市民と共有するため、平成26年9月に「人口減少に挑む長野市長声明」を発表しました。

本年は、若者が魅力を感じる地方拠点都市を目指し「定住人口の増加」「交流人口の増加」「特色ある地域づくり」を柱に、健康長寿、少子化対策、企業誘致、中山間地

域活性化など具体的な施策の実現に向けて本気で取り組む年でもあります。

むすびに

本年10月8、9日の両日、本市

において、第77回全国都市問題会議を開催の上、全国的に共通するテーマについて、基調講演やパネルディスカッションにより議論します。皆さまのお越しを心よりお待ちしております。

プロフィール

- ◆ 面積 834・85km²
- ◆ 人口 38万4544人
- ◆ 世帯数 15万7266世帯

〔将来都市像〕 善光寺平に結ばれる人と地域がきらめくまち、ながの。

〔まちの特徴〕 北陸新幹線（長野経由）の金沢延伸によって、首都圏と北陸、関西圏の中間点という好立地に加え、名古屋圏と日本海沿岸地域を結ぶ拠点都市。古代から近代まで多くの歴史遺産を有する

〔市町村合併〕 平成17年1月1日、上水内郡豊野町、戸隠村、鬼無里村、更級郡大岡村を編入合併。平成22年1月1日、上水内郡信州新町、中条村を編入合併

〔特産品〕 信州蕎麦、りんご（ふじ、



長野市長
加藤久雄



秋映・シナノスイート・シナノゴールド）、もも（川中島白桃・白鳳、ジンギスカン、おやき、信州味噌、七味唐辛子、戸隠竹細工、松代焼

〔観光〕 善光寺、飯綱高原、川中島古戦場、城下町松代、つつじ山公園、戸隠神社、戸隠キャンプ場、戸隠スキー場、奥裾花溪谷、久米路峡

〔イベント〕 長野灯まつり（2月）、ながのマラソン（4月）、ながの花フェスタ 善光寺花回廊（5月）、ながの祇園祭・御祭礼屋台巡行（7月）、長野びんずる祭り（8月）、信州新町納涼大会 ろうかく湖とうろう流しと花火大会（8月）、松代藩真田十万石まつり（10月）、長野えびす講煙火大会（11月）

※ 面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

わが

霊峰大山に抱かれた自然と歴史にあふれるまち

はじめに

伊勢原市は、神奈川県ほぼ中央に位置し、東京や横浜といった大都市への通勤・通学圏内にありますが、緑豊かな大山を背景に丘陵部では果樹栽培や畑作が行われ、低地部には水田が広がり、平地部には市街地が形成され、温暖な気候で四季の実りや自然の恵みにあふれる住みよいまちです。

霊峰大山は、古くから神の宿る



田園地帯から望む「霊峰大山」

場所として多くの人々にあがめられ、江戸時代には関東一円に「大山講」が組織され、多くの人々が「大山道」を通じて「大山参り」に訪れました。市内には、源頼朝や北条政子など多くの人々の信仰を集めた日向薬師などの史跡もあり、緑豊かな自然と信仰の歴史の地としての町並みや史跡が織りなす文化や歴史が、まちの魅力を高めています。

また、医師・歯科診療所から高度先進医療を担う大学病院まで、さまざまな機能を有する医療機関が市内にあり、市民の医療ニーズを市内で満たすことができる医療環境に恵まれています。

広域幹線道路の整備で交通利便性が大幅に向上

市内では、新東名高速道路が、

首都圏中央連絡自動車道（さがみ縦貫道路）から市内に開設される

インターチェンジまでの区間は平成30年度、そして、市内のインターチェンジから静岡県御殿場インターチェンジまでの区間は平成32年度の開通を目指して整備が進められています。また、国道246号バイパスの整備も進められています。

これら広域幹線道路の整備により、中央自動車道や関越自動車道ともつながることとなりますので、本市の交通利便性が大幅に向上し、観光振興や企業誘致など、人、もの、情報の新たな交流促進による地域の活性化が大いに期待されます。

新たな産業用地の創出

本市では、広域幹線道路の整備

という機会を積極的に活用して、将来に向けて持続的に発展していくための基盤とするため、現在、2カ所の新たな産業用地の創出に取り組んでいます。

このうち、地域の東部に位置する地区は、面積が約22haですが、間もなく市街化区域への編入が決定し、土地区画整理組合により基盤整備が進められることになっていきますので、併行して企業誘致を進めています。

また、地域の中央部、新東名高速道路のインターチェンジ周辺地区は、区域面積が約35haですが、平成30年度中のインターチェンジ開通を視野に入れて、現在、地権者など地区の皆さんとまちづくりや土地利用の在り方について検討を進めています。

さがみロボット産業特区の活用

本市は「さがみロボット産業特区」の対象地域です。「さがみロボット産業特区」は、首都圏中央



多くの観光客でにぎわう「絵とうろうの祭典」

連絡自動車道（さがみ縦貫道路）の全線開通を機に、県内経済の活性化を図るため、神奈川県が地域活性化総合特区の指定を受けたものですが、本市を含む10市2町の対象地域において、特区を活用した生活支援ロボットの実用化や普及を促進するとともに、関連企業の集積を進めるものです。

本市におきましても、交通便利性の向上、豊かな自然環境や恵まれた医療環境など、本市が持つポテンシャルと特区対象地域の利点を最大限に生かし、企業誘致を含む産業力の強化による経済の持続的発展を目指しております。

国際観光地づくりを目指して

本市は、大山や日向薬師などの歴史的に重要なものだけではなく、豊かな自然環境や伝承・文化、観光農園など、多彩で優れた観光資源に恵まれており、毎年約170万人の観光客が訪れていますが、さらに多くの観光客に訪れていただくべく、伊勢原ならではの個性を磨くとともに、周辺市町村とも連携して回遊性を高め、四季を通じて多くの人を引き付ける魅力ある観光地づくりを推進しています。

大山や日向薬師のある日向地域では、広域幹線道路の整備による交通便利性の向上も踏まえて、神奈川県が進めている横浜、鎌倉、箱根に次ぐ、新たな観光の核づくり事業の認定を受けて、国際的な観光地を目指し、地域や大学、関係機関と連携を図り『大山魅力再発見「平成大山講」プロジェクト』体験！悠久の歴史・安らぎの霊峰大山』を推進しています。

このプロジェクトは、長い歴史に培われ多くの人を魅了してきた歴史的観光地大山や日向地域ならではの資源に魅力を再発見・再評

価し、活用・発信することで、かつて「大山参り」でにぎわった江戸期のように、多くの人が訪れ、にぎわいある観光地づくりを進めるもので、人と人との出会い、触れ合い、交流を軸に、おもてなしの心で、国内外から訪れる観光客を受け入れ、日本文化の再発見、歴史体験と安らぎの場としての国際観光地づくりを目指しています。

プロフィール

◆ 面積 55・52km²

◆ 人口 9万9513人

◆ 世帯数 4万2794世帯

〔将来都市像〕豊かな自然に包まれみんなの力が次代を拓く、しあわせ創造都市 いせはら

〔まちの特徴〕県のほぼ中央に位置し、霊峰「大山」を頂点に豊かな平野部が広がる自然の恵みにあふれる住みやすいまち

〔特産品〕大山こま、とうふ料理、大山菜、柿ワイン、みかんワイン、ブドウ



伊勢原市長
高山松太郎



ウ、ナシ、カキ、ミカン、イチゴ
〔観光〕大山阿夫利神社、日向薬師三之宮比々多神社、大山寺、渋田川沿いの芝桜、あやめの里、日向の彼岸花
〔イベント〕伊勢原観光道灌まつり、火祭薪能、大山とうふまつり、大山登山マラソン大会、公園緑花まつり、大山紅葉ライトアップ



大山の能舞台上で洋楽コンサート

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

わが

「今日よりも明日を心豊かにする 誰もが住み続けたいまち」を目指して！

はじめに

泉大津市は、大阪府の南部に位置し、北部・東部は高石市と和泉市、南部は大津川を境として泉北郡忠岡町と隣接しています。西北部は大阪湾に面し、はるかに六甲山、淡路島を望むことができます。

本市の人口は約7万6000人で面積は13・41km²であり、大阪都心から南西約20km、関西国際空港から東北に約15kmとほぼ大阪市と関空の中間の位置にあります。

地形は平坦で、気候は温暖で住みやすく、住宅地として最適であり市域全域が市街化区域です。

地場産業では、125年以上の歴史を有し、国内生産の9割以上を占める毛布産業をはじめ、ニット・毛織物などの繊維産業があります。

いずみおおつ

セーフコミュニティ認証の取得を目指して

本市では、平成26年からWHO（世界保健機関）セーフコミュニティ（国際労働センター）が推奨する国際認証制度、「セーフコミュニティ」活動に取り組んでいます。

この活動は、「多くの事故・犯罪・自殺等による死亡やけがは偶然の結果ではなく予防できる」との考えの下、これまでの安全・安心の活動を生かしつつ、本市の状況に則した取り組みを、地域で活動する団体や市民、関係機関、行政などが分野を越えた連携・協働を進め、「より安全・安心に暮らすことのできるまち」を目指すものです。

本市のけがや事故に関する主な状況から、「交通安全」「子どもの安全」「高齢者の安全」「自殺予防」

「犯罪防止」「災害安全」の6つの分野を重点として、取り組んでまいります。地域コミュニティの衰退が懸念され、私たちを取り巻く安全・安心をめぐる課題が複雑化

の中で、安全の向上はもろろんのこと、地域の人々のつながりや支え合う意識の醸成につながることを期待して、泉大津市セーフコミュニティを進めていきます。

こども園は人と人をつなぎ、やさしさの輪を広げる地域の拠点です

子育て世代にやさしい環境づくりのため、公立の幼保連携型認定こども園を整備することにより、質の高い「教育・保育」を提供し、子育て支援の充実を図っています。

0歳児から5歳児を一貫した就学前教育とする、泉大津市就学前

教育指針を策定し、3～5歳児の幼稚園と0～5歳児の保育所の特徴ある機能を生かし、平成26年4月に既存の公立施設を利用し（並列型）大阪府内初となる「泉大津市立くすのき認定こども園」を、また、平成27年4月には「泉大津市立かみじょう認定こども園」を開設します。

3歳児からは同じクラスで「教育・保育」を受け、利用時間が異なる子どもが在籍することに伴う行事の見直しや保護者が参加しやすい土曜日、日曜日参観やオープンスクール、中学生との交流を行うなど、高い水準の「教育・保育」の



泉大津市立幼保連携型認定こども園

実践に努めています。

今後、保護者の就労の有無や形態などで区別することなく、多様な子育てニーズに的確に対応できるように、「子育てにやさしいまち、子どもの笑顔^{はぐ}を育むまち・いずみおおつ」を目指し、子育て支援の充実を図っていきます。

地域医療の充実に努めます

昭和2年に和泉伝染病院として開設された泉大津市立病院は、平成10年には施設を全面改築し、さらに平成21年には地域周産期母子医療センターを開設し、地域の健康を守る拠点病院として貢献してきました。

しかし、施設整備や医師の大量



ベトナムのバリア・ブンタウ省との経済協力に関する覚書調印式

退職などにより、市立病院の収支は大きく悪化し、さまざまな角度から経営の健全化に努めてきましたが、経営の改善には至らず、厳しい状況が続いていました。

こうしたことから、平成25年10月、地方公営企業法を全部適用する組織へと経営形態を変更し、新たにスタートを切ることとしました。

時流の変遷により、地域医療のニーズはさまざまに多様化しています。泉大津市立病院はその中であって、地域の拠点病院として必要な機能を保ちつつ、周産期や消化器などの強みを発揮し、地域医療の充実に努めていきます。

「港湾のまち・いずみおおつ」を世界にPR!!

「港湾トップセールスで活路を」

本市の臨海部などで構成される「堺泉北港」は、紀貫之の土佐日記に「小津の泊」と詠まれるなど古くから栄え、現在では国際拠点港湾として整備されています。都市高速道路に直結し、関西国際空港や大阪都心部から30分以内という抜群のアクセスを誇るなど、陸・海・空の国際貿易拠点として大きな役割を担っています。

そこで、さらなる堺泉北港の利便促進と、市域全体の経済の活性化を図るため、本市の魅力を諸外国に向けて発信しPRする「港湾トップセールス」を行いました。初めての取り組みとなった平成26年度は、私自らがベトナム（ホーチミン市、バリア・ブンタウ省）とミャンマー（ヤンゴン市）を訪問し、港湾を主軸とした経済協力について協議しました。

その成果として、バリア・ブン

プロフィール

- ◆ 面積 13・41km²
- ◆ 人口 7万6228人
- ◆ 世帯数 3万3534世帯

〔将来都市像〕住めば誰もが輝くまち 泉大津

〔まちの特徴〕大阪都市部と関西国際空港の中間に位置し、高い交通利便性と多様な交通手段を有する、住宅と産業が共存するまち



泉大津市長 伊藤晴彦



〔特産品〕毛布、ニット、毛織物

〔観光〕泉穴師神社、史跡池上曾根遺跡、池上曾根弥生学習館、泉大津市立織編館、泉大津大橋、泉大津マリーナ、浜街道、田中本陣

〔イベント〕泉大津大橋から初日の出を見る集い、浜街道まつり、泉大津フェニックス野外コンサート、だんじりまつり、ナンバーワンフェスタ、毛布・ニット謝恩セール

タウ省とは「経済協力に関する覚書」の締結に至るなど、大きな成果を挙げることができました。これは、地域の資源を最大限に生かした積極的な取り組みであり、未来への大きな第一歩であると考えています。

すべての市民の皆さまが、「住み続けたい」と思える「泉大津市」を目指し、子育て支援の充実・安心安全なまちづくりなど、市政運営に全力で臨んでまいります。

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

わが

今からが旬！ 西海市の優れた地域資源ご賞味あれ

西海市知っていますか？

西海市、全国の皆さまにどのように紹介したら分かってもらえますでしょうか？

位置については、北は佐世保市、南は長崎市に隣接し、東に波静かな大村湾、西に五島灘が広がっています。

西海市は、平成17年に、ハウステンボスの前身であるオランダ村で一世を風靡した「西彼町」。日本史著者ルイス・フロイスが日本に初上陸した「西海町」。造船所が作るトマトのトップブランド大島トマトの「大島町」。かつては炭鉱で人口密度日本一といわれた「崎戸町」。大相撲九州場所には欠かせない幻の高級魚アラ(クエ)の産地「大瀬戸町」の近隣5カ町が合併し、本年度10年を迎えます。

5つの町の中にはご存じのところがおありでしょうか？ 少し紹介しただけでも何となく気になる市と感じていただければありがたいと思います。本市にはこのように顕在する財産と、まだ気付いていない自然、歴史、食の魅力がたっぷりございます。私はこのような優れた地域資源が市民の活力であり、全国にも発信できる財産、ひいては市民の一体感の醸成にもつながると確信し、これらをキーワードとして市民協働による地域再生・西海創生を目指しています。

豊かな自然の恵みと共存

まず、県内唯一の鍾乳洞「国指定天然記念物七釜鍾乳洞」があります。全国にある鍾乳洞が2億5000万年前の石灰岩層にできているのに対し、本鍾乳洞は約

3000万年前の石灰質砂岩層というごく稀なものです。これまでは観光資源として活用していましたが、3年間学術調査を行い、本年度日本洞窟学会を開催いただくなど教育的活用が図られるようになりしました。また、周辺の景観を守りたいと市民が集り、西海里山イニシアティブ推進協議会を立ち上げ、四季折々の花植えやイベント開催により交流人口の増加につながっています。

さらに、平安時代末期より本州から南西諸島まで広く流通した石鍋の製作遺跡(一部は国指定)も数多くあり研究者の間で注目されています。

海洋資源も政策に取り入れています。平成26年7月には、国の海洋再生可能エネルギー実証フィールドに、本市の海域が選定を受

け、潮流発電の実証に向けた動きも始まり、新たな雇用創出に期待が高まっております。

そのほか、環境実践モデル都市の指定を受け、自然環境や希少動植物の保護、それから始まる地域づくりにも力を入れています。

歴史を通じた交流の広がり

本市には88の行政区があり、そのほとんどで昔ながらの風習が残り、子どもたちへしっかりと引き継がれております。このため、毎週といえるほどお祭りなどの伝統行事が市内のどこかで開催されています。

私もお招きいただき、人のつながりと昔を重んじる田舎の心に感銘しております。幼児から高齢の方まで集う地域行事が、本市の子どもたちの純粋な成長につながっています。余談ですが、小さな催しにも顔を出すように心がけています。おかげで休みはほとんどありませんが(笑)。市の大きな催しには必ずといってよいほど地域の

伝統芸能を複数取り入れながら、市民の交流に大きな役割を果たしてくれております。

また、全国に注目される歴史もごさいます。南蛮貿易や天正遣欧少年使節団「中浦ジュリアン」生誕の地などのキリスト教関連は世界も注目するところです。世界遺産暫定リスト入りした長崎の教会群とキリスト教関連遺産に絡め、交流人口の拡大に向けて市民協働による取り組みを強化します。

さらに長崎県は明治日本の産業革命遺産九州・山口と関連地域としてもリスト入りしています。炭鉱遺構が数多く残る本市にとってはこちらも追い風となるよう戦略を練っています。

自慢の食

私は、市民が最も身近に自慢、



毎年11月末の日曜日に開催する食の一大イベント「西海大鍋まつり」

誇りを持てるものは「食」であると思っており、特に力を入れていきます。

今年の春には第17弾となる「さいかい井フエア」。主に魚をメインとした丼を約20店舗から提供いただく予定で、今では九州に名高いイベントにまで成長しています。

毎年11月末の日曜日に食の一大イベントとして開催している「西海大鍋まつり」。西海市の食材をふんだんに使った5000食の鍋料理は毎年、完売しております。

また、この祭りをさらに盛り上げていただいているのが、姉妹都市の北海道広尾町と宮崎県西都市の「食」です。長崎県では日頃味わうことのできない絶品食材を求めて県内外から多くの方が来ていただいております。なお、西都市とは、距離間や立地環境の違いから、万が一の大規模災害等に備え、相互に応援することもお約束しております。

食に関してはもちろんイベントだけではなく農水産物それぞれに販路の拡大、加工技術、ブランド化を強化しています。近年では全国放映の料理番組が本市のさまざまな食材を取材に来ております。

おわりに

私も市政を預かり6年が経過しようとしています。市民協働によりさまざまな取り組みを進めたことから、潜在していた魅力と市民の一体感も醸成されてきました。この歩みから脂が乗って、匂を迎えた本市の今に、地方創生が動き出したことは好機でございます。

これまで人口減少対策として取り組んでいた企業誘致、オランダ村再生などの施策に加え、職員の方の知恵、熱意をもっと引き出し、冒頭に書かせていただいた疑問がなくなるよう「西海といったら市民が元気で有名な市だね」と全国の多くの方にお分かりになれるよう市民の皆さんと「西海創生」をさらに前進させてまいります。

プロフィール

- ◆ 面積 242.01km²
- ◆ 人口 2万9967人
- ◆ 世帯数 1万2718世帯

〔将来都市像〕「健康の里さいかい」

〔まちの特徴〕古くは海と鉱山の恵みにより一時代の隆盛を極め、その文化・風習を大切に今に守る人情厚いまち

〔市町村合併〕平成17年4月1日、西彼町・西海町・大島町・崎戸町・大瀬戸町が対等合併

〔特産品〕イセエビ、アラ（クエ）、糸べす蛸、牡蠣、西海ポーク、ゆでぼし



西海市長 田中隆一



大根、大島トマト、ミカン、ビワ、焼酎、カンコ餅ほか

〔観光〕長崎バイオパーク、西海橋、七釜鍾乳洞、横瀬浦、中浦ジュリアン記念公園、百合岳公園、さんさん元氣ランド、尻久砂里海浜公園、音浴博物館

〔イベント〕西海大鍋まつり、さいかい井フエア、雪浦ウィーク、長崎西海トライアスロン大会、大瀬戸ペーロン大会

※ 面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。